

▶ 放射線を受けた後にどのような健康影響が生じるか、生じないか、受けた放射線の量、受けた場所（全身、局所）、時間的経過（被ばくの様式）を考慮する

## 確定的影响

(しきい値がある)

### 急性障害

数週間以内に症状が出る  
(分裂が盛んな細胞が障害を受ける)

### 急性放射線症

皮膚紅斑  
脱毛  
不妊

など

骨髓障害  
胃腸管障害  
中枢神経障害

### 胎児発生障害

胚/胎児の障害  
精神遅滞

など

白内障  
緑内障

### 晚発障害

数か月～数年以上の経過後に  
症状が出る

白血病  
がん

## 確率的影响

(しきい値がないと仮定)

### 遺伝的障害

通常の遺伝性疾患の発生頻度の増加